学校番号	319

令和３年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	日本史Ａ	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	高等学校日本史Ａ　新訂版　（実教出版）						
副教材等	高校日本史Ａ309 新訂版　準拠演習ノート　（実教出版） 図説日本史通覧（帝国書院）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・日本の近現代史を教科書・諸資料を活用して考察し、歴史的な見方や考え方を身につけ、国際化した現代に生きる一員としての自覚と資質を養う。

2　学習の到達目標

・日本近現代史の展開を国際環境や地理的条件や世界の動きと関連付け、現代の諸課題に着目して考察させる。
・近代の特色を大観的に捉えるとともに、諸資料を活用して歴史を考察し、歴史的な見方や考え方を身につけ、歴史的な思考力の育成を図る。
・国際社会に生きる一員としての自覚と資質を養う。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:資料活用の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	近現代の歴史に関心を持ち、現代の諸課題に対して主体的・意欲的に学習活動をしている。	近現代の歴史と現代の諸課題に関する歴史的事象を多面的・多角的に比較・考察している。	近現代の歴史と現代の諸課題に関する諸資料を収集し，吟味・考察してその成果を適切にまとめ、図表などにまとめたりする	近現代の歴史と現代の諸課題に関する相互の因果関係を公正に読み取る能力と考察する能力を身につけている。
評価方法	授業への参加度 ノート ワークシート	定期考査 レポート ワークシート	定期考査 レポート ワークシート	定期考査・小テスト レポート 発表

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			A	b	c	d		
1学期	私たちの時代と歴史	・私たちの時代 ・私たちの身近なところから歴史を考えてみよう "	○	○	○	○	a: 近現代の歴史的事象と現在との結びつきを考察させる学習活動を通して、歴史への関心を高め、歴史を学ぶ意義に気付く。 bc: カレーライスを一つの手がかりにして、食生活から近現代の日本の課題を考察していく。 d:歴史への関心を高め、歴史を学ぶ意義に気付く。	ワークシート
	近代への転換	①　異国船の接近と幕藩体制の動揺 ②　蘭学と国学の普及 ③　開国と社会の変動 ④　尊王攘夷から倒幕へ ⑤　明治維新と新政府	○ ○ ○ ○	○	○ ○ ○	○ ○ ○ ○	a: 開国以後、明治維新をへて近代日本が急速に形成された過程を、国際環境と関連付けて考察していく。 b: 文明開化などに見られる欧米文化の導入と明治政府による諸制度の改革にともなう社会・文化の変化に着目し比較・考察している。 c: 文献、絵画、地図、写真、映像、統計、グラフなどの諸資料を読み解くとともに、その成果をレポートや図表などに表現している。 d:ペリー来航・開国以後、明治維新をへて近代日本が急速に形成された過程を、国際環境と関連付けて追求している。	定期考査 ワークシート ノート
	大日本帝国の形成	①　文明開化と復古 ②　地租改正と富国強兵 ③　アジア外交と国境問題 ④　民権思想と国会開設運動 ⑤　私擬憲法と政党の結成 ⑥　松方財政と民権運動の激化 ⑦　大日本帝国憲法の制定	○ ○ ○ ○ ○	○	 ○ ○	 ○ ○ ○ ○	a:自由民権運動の展開と立憲政体の確立の過程を考察していく b:殖産興業と富国強兵事業の形成過程を考察する c:松方財政の資本主義の形成における意義を考察する d:文献、地図、グラフなどを読み解く	定期考査 ワークシート ノート

	大日本帝国の展開	① 条約改正と立憲政友会の結成 ② 朝鮮政策と日清戦争 ③ 日清戦争後の東アジア ④ 日露戦争と朝鮮 ⑤ 朝鮮の植民地化 ⑥ 資本主義と寄生地主制 ⑦ 社会問題の発生 ⑧ 欧米文化と伝統文化の交錯	○ ○ ○ ○ ○ 	○ ○ ○ ○ ○ 	○ ○ ○	 ○ ○ ○	a: 条約改正や日清・日露戦争前後の対外関係の変化、政党の役割と社会的な基盤など、多角的な面から考察していく。 b:日清日露戦争を経て国際的な地位向上を実現する中で、国内の政治や国際環境、産業革命の進展、社会問題の発生などについて考察していく。 c: 文献、絵画、地図、写真、映像、統計などの諸資料を読み解くとともに、その成果をレポートや図表などに表現している。 d: 産業革命の進行、都市や村落の生活と社会問題の発生、学問・文化の進展と教育の普及に着目し、近代産業の発展と国民生活の変化について考察していく。	

2学期	両大戦間の世界と日本	① 大正デモクラシー ② 第一次世界大戦 ③ 第一次世界大戦後の世界 ④ 日本の資本主義の成長 ⑤ 米騒動と改造の時代 ⑥ 男子普通選挙法と治安維持法 ⑦ 大正デモクラシーと文化	○ ○ ○ 	 ○ ○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○	a: 第一次護憲運動からの政党政治の推移と近代産業の発展と大衆文化の形成が国民にもたらした影響について考察していく。 b: 第一次世界大戦が我が国の外交政策や経済発展に与えた影響に着目して考察している。 c: 文献、絵画、地図、写真、映像、統計などの諸資料を読み解くとともに、その成果を図表などに表現している。 d: 大衆社会と大衆文化の形成に着目して、社会の変化と国民生活の変化について考察している。	定期考査 ワークシート ノート
3学期	十五年戦争と日本・アジア	① 侵略戦争への序幕 ② 満州事変と「満州国」 ③ 日中戦争 ④ 第2次世界大戦と日本 ⑤ 戦時下の学問と文化 ⑥ アジア太平洋戦争 ⑦ 戦争末期の国民生活 ⑧ 日本の敗戦	○ ○ ○ ○ 	 ○ ○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	a: 世界恐慌からファシズム体制に至る国際社会の動向、国内政治と経済の動揺、アジア近隣諸国との関係について考察していく。 b: 国際社会の変化と国内政治の推移に着目して、戦時体制の強化など、第二次世界大戦と日本のかかわりについて考察していく。 c: 文献、絵画、地図、写真、映像、統計、グラフなどの諸資料を読み解くとともに、その成果を図表などに表現していく。 d: 戦時体制の確立と国内政治、国民生活の変化について考察していく。	定期考査 ワークシート ノート

3学期	日本の再出発	①占領軍がやってきた ②日本が生まれかわる ③新しい国のしくみ ④飢えとのたたかい ⑤飢えのなかでも解放感があった ⑥民主化から経済復興へ ⑦復興への転機到来 ⑧複雑な環境のなかでの独立	○ ○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○	 ○	 ○ ○ ○	a: 占領政策と諸改革、新憲法の成立、国際社会への復帰と再出発、及びその後の政治や対外関係の推移について考察する b:第二次大戦後の政治や経済、国民生活の動向について現代の諸課題との関連を重視して考察していく。 c: 文献、絵画、地図、写真、映像、統計、グラフなどの諸資料を考察し、その成果を図表などで表現していく。 d:現代の社会の初課題が歴史的に形成されたものであるという観点から、その解決に向けた方策を考えていく。	定期考査 ワークシート ノート
	独立後の政治と対外関係	①平和への願いが叫ばれた ②保守と革新の正面衝突 ③奇跡の経済成長がはじまった ④奇跡の経済成長の影 ⑤あらたな戦争にまきこまれた ⑥豊かさと中流意識	○ ○ ○ ○	 ○ ○		○		
	現代の日本と世界	①2つのショック ②経済大国が誕生した ③消費はファッションになった ④バブルはこうしてふくらんだ ⑤大きな歴史の転換をむかえた ⑥政局と経済が混迷する ⑦これからの日本について考えよう ⑧時代の転換点に立って 現代からの研究 ・歴史と共に生きるということについて考えよう① ・歴史と共に生きるということについて考えよう②	○ ○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○		

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
c:資料活用の技能・表現　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。